

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月6日

平塚市立崇善小学校

学校長 山田 美保

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
物を大事に最後まで使う 無駄遣いをしない 水を出しっぱなしにしない 節水を心掛ける 水を大切に使う(出しすぎない。バケツを使う。) 余った紙はリユース、リサイクル紙を大事にする	電気を使わないときは消す 節電を心掛ける 教室を使わないときは、電気や扇風機を消す SDGs を大切に	給食を残さず食べる フードロスをなくす(自分が決めた給食の量を残さず食べる) ストローはストロー袋に入れる ごみを分別する 使った物は片付ける リサイクルを心掛ける リサイクルボックスの設置、回収物を大切に
独自メニュー		
<ul style="list-style-type: none"><li>・学級ごとに ISO 目標を設定・実践。「ISO チェックカード」による振り返りを毎月実施。(物を大切にしよう、など)</li><li>・ISO 委員会の児童が毎月「ISO チェックカード」をチェックし、振り返りをするよう声を掛ける。</li><li>・年間を通して職員室前に落とし物置き場を設置。時期を見て保護者や児童に確認するよう声を掛ける。</li><li>・ISO 委員会の取り組み。(リサイクルボックスの設置・回収、「ISO チェックカード」の確認、掃除用具の入れ方のチェック)</li><li>・フラワーボランティアによる校内緑化推進。</li><li>・園芸委員会による緑の羽根募金の実施、校内緑化推進。</li><li>・コツコツプランへの参加。</li><li>・6年生の卒業に向けての校内美化(予定)</li><li>・給食室より食材やメニューの情報を発信、給食委員によるペロリカードの実施。(食べ残しを減らすための取り組み。)</li></ul>		

## 独自メニュー

各クラスでめあてを決めて取り組む「ISO チェックカード」



## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	各クラスで ISO めあてに向けて行動する、委員会児童が「ISO チェックカード」の点検をするなど、それぞれの役割分担に沿って ISO の取り組みを進めることができていました。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	裏紙を利用する、ごみを分別して捨てるなど、学校全体で取り組んでいるものが多くありました。ISO に対する意識の高さが見られました。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	ISO めあてを各クラスで記入・掲示し、毎月カードを使って振り返りができていました。また、委員会児童が記入状況をチェックすることもできていました。忘れてしまっているクラス・委員会児童がいたので、職員からももっと声かけをすることが必要でした。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	昨年度の反省で、古紙を回収するリサイクルボックスを作り直したいという意見が出ていたことをふまえ、今年度の委員会児童で作り直し、必要なクラスに設置することができました。年度途中でも適宜点検、交換をしていました。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- ・「ISO チェックカード」に記入していないクラスがありました。
- ・リサイクルボックスが破損してしまっているクラスがあり、年度途中で新しく作成、交換をしました。
- ・ごみを分別して捨てることができました。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・各クラスでめあてを立てたり、カードを使って振り返りをしたりする活動は継続し、引き続き ISO への意識を高めていきたい。
- ・委員会児童が放送を入れたりポスターを作製したりして、学校全体へ呼びかけをしていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月7日

平塚市立港小学校

学校長 岩田 裕之

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・水を出したままにしない。</li><li>・物を最後まで使う。</li><li>・裏紙を利用する。</li><li>・雑巾を洗うときは、バケツにためた水で洗う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教室、トイレなどの電気を適宜、消す。</li><li>・使っていない機器の電源を切る。</li><li>・コンセントを抜く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ごみを必ず分別して捨てる。</li><li>・給食を残さず食べるようにする。</li></ul>
独自メニュー		
<p>学校・学級での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活科や理科など各教科と関連させて、学級園・学年園で野菜や草花を栽培し、食育の大切さに気付いたり、校内緑化に努めたりする。 (アサガオ、オクラ、ピーマン、キュウリ、ミニトマト、サツマイモ、米など)</li><li>・ゴミ箱に「もせるごみ」「プラクル」「リサイクル」のカードを貼りゴミがきちんと分別できるようにする。</li><li>・4年生で海岸清掃を行い、地域の自然環境を知り、環境問題への関心を深めるように努める。</li><li>・給食室では、生ゴミ処理機を使って、野菜くずなどで肥料作りを行う。</li><li>・学校全体の落とし物置き場を昇降口に設置し、それを各クラスで回覧し、落とし物を減らすように意識させた。</li></ul> <p>委員会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・電気のスイッチや水道に節水・節電を呼び掛けるカードの作成、掲示をする。</li><li>・ニチバン巻芯 ECO プロジェクト「テープの巻芯を集めて緑の地球を守ろう！」に参加する。校内放送で巻芯回収を呼びかけ、回収した。</li></ul> <p>教職員の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・印刷紙の両面使用や再利用をした。</li><li>・職員会議で、校支援の電子会議室を利用し、紙を無駄遣いしないように心掛けた。</li></ul>		

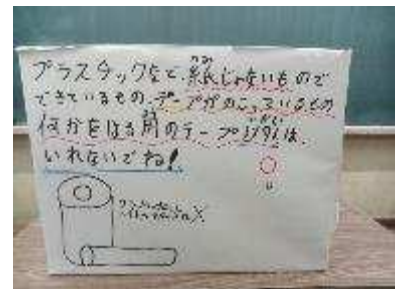
## 独自メニュー



節電を呼び掛けるカード



ゴミ箱に表示をして分別を促す



巻芯回収ボックス

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	各学年での独自メニューや共通メニューへの計画に対し、取り組みはできていた。委員会で昨年度より巻芯回収を行っている。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	学年ごとに実施可能な内容に取り組みていた。委員会が放送で巻芯回収を呼びかけ、巻芯回収ボックスを校内に何か所か設置した。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	委員会活動の日に巻芯を回収し、どれくらい集まっているのかその都度、現状を把握していた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	各クラスリサイクルができていないかの確認はできていなかったため、来年度行っていきたい。
その他	

## 3 1年間で振り返った感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

ISO委員会を中心に、給食時の放送で節電・節水に関する呼びかけを行ったり、手作りポスターを掲示したりすることにより、学校全体で環境に気を付けながら生活することができた。昨年度から行っている巻芯回収では、進んで巻芯を入れようとする児童の姿が多くみられた。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

学級にあるゴミ箱に「もえるごみ」「プラクル」「リサイクル」の表示は定期的に点検をして、分別ができていないかの確認やスムーズに分別ができるよう環境を整えていきたい。放送では環境クイズなどを取り入れ、呼びかけだけでなく、環境についての理解を深めていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月13日

平塚市立 松原小学校

学校長 土屋 浩明

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・ゴミの分別 プラクル、古紙、ペットボトル などに分別をしている。</li><li>・牛乳パックの回収</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・風力発電の設置</li><li>・雨水貯水槽の設置</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各クラスからのプラクルは 収集日を決め、係で回収する。</li></ul>
独自メニュー		
<p>ゴミの分別 全児童・全職員 各教室で分別した物を係が確認するため、毎週火曜日の給食後職員室前に持って行く。プラゴミは、給食時に出るパンの袋やストロ - の袋を中心に全て集めている。 係がチェックすることを意識して、可燃物等が混ざらないよう意識して分別をする。</p> <p>牛乳パックの洗浄 牛乳パックを洗って乾かし再生業者に引き取ってもらい、資源再生に生かす。</p> <p>係・委員会 各教室から出たプラゴミを、毎週火曜日・職員室前で集める。一つ一つその場でゴミのチェックをし、汚れたゴミが混ざっていないか、また小さくまとめられているか確認する。</p>		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	児童・職員がそれぞれ身近なところから課題を見つけ、目標を設定し、実行している。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	委員会活動を中心に学校全体で環境への取り組みを行った。学校全体としても、各クラスの分別など意識をもって行ことができた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	児童はISO美化委員会が中心となり、ISOについての呼びかけをしている。牛乳パック洗い係などをつくっているクラスも多く見られた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	児童や家庭への呼びかけを継続することで、今後もISOに対する意識を高めていきたい。
その他	風力発電がどのように活用されているのかなど発信していきたい。

## 3 1年間で振り返ったの感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- ・各クラスのプラゴミが正しく分別できているか、しっかりと確認することができた。
- ・委員会の取り組みとして、資源回収の仕方を全校児童に伝え、意識を高めることができた。
- ・水や電気の節約に気を付けることができた。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

学校全体でごみの分別にしっかり取り組めたことはよかったので、引き続き環境を意識して生活していきたい。節電や省エネなどについても委員会を通して呼びかけをしていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月8日

平塚市立富士見小学校

学校長 森下 志麻

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>紙の両面活用をしよう</li><li>手を洗うときは水を止めよう</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>人がいないときは電気やエアコンを消そう</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>燃えるごみとプラごみを分けて捨てよう</li></ul>
独自メニュー		
<p><b>職員室</b></p>  <p>職員向けの資料は、裏紙を利用する。 資源として再利用できる紙を分ける。</p>	<p><b>教室</b></p>  <p>ごみの分別をしっかりと行う。</p>	
<p><b>委員会</b></p> <p>〇年3回各クラスでISO目標のふり返り</p>  <p>節電・節水・ごみの分別について、全校に呼びかけ、「できたかなカード」の点検をする。 (給食時の放送、ポスター)</p>		

○その他の常時活動

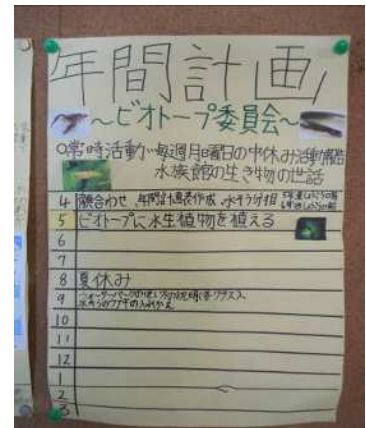
- ・ P T Aと共に校内で集めているカートリッジ交換箱の管理を行っている。



昇降口近くに設置

○「環境」学習への取り組み

- ・ 4年生総合「ホテルを育てよう」: 各クラスで卵からの飼育 放流 (各教科の中で各学年が取り組んでいる)
- ・ ビオトープ委員会: ビオトープの環境整備



## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者: 学校(園)長 職員 その他( )

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	I S O委員会が中心になって、計画を立て、学校全体で協力して進めることができた。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	3か月毎に委員会で目標を決め、実施し、振り返りをし、1年間学校全体で取り組むことができた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	3か月毎に各学級の振り返りカードに記入して実施状況を確認し、継続して取り組んでいけるように声かけを行った。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	昨年度の反省を生かして、委員会で決めた具体的取り組みを3か月ごとに振り返り、I S O委員会で確認しながら、1年間継続していけるよう支援した。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想

自然や環境を守ることの大切さを考えながら活動することができた。ISO 委員会の児童一人一人が環境問題に興味をもち、自分の考えをもとに意見を出して仲間と相談し、目標を決めることができた。学校全体にその意識を伝え広めることは難しかったところもあったが頑張った。

## 4 来年度に向けて(見直し結果)

今年度の取り組みを来年度も継続して行うとともに、I S O委員会や他の委員会が協力してして多くの児童に「環境に配慮した生活の仕方」を伝えられるように活動していきたい。そして、活動の幅を広げていくことができるとうい。

# 評価及び取組報告書


令和8年1月16日

平塚市立花水小学校

学校長 工藤恵子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・裏紙やコピー用紙をメモ用紙等に活用している。</li><li>・道具、公共物を大切に扱う。</li><li>・会議用のペーパーレスの徹底。</li><li>・水資源を大切にす。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消灯・電気オフの確認をする。</li><li>・冷房設定温度26度、暖房設定温度20度を目安にする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ペットボトル、容器包装、プラスチック、缶、びんなどの資源ごみの分別回収をする。</li></ul>
独自メニュー		
<p>職員室、印刷室などリサイクルボックスの設置。(裏面使用可の用紙の場所を確保)</p> <p>各クラスの取り組み・・・リサイクル紙ボックス(紙)、分別ごみ箱(燃えるゴミ・プラスチックごみ)</p> <p>振り返りカードによる水資源・電気(消灯・電源オフなど)</p> <p>4年生の取り組み・・・リサイクル活動として、コンポスト(野菜の屑)の取り組み。</p> <p>委員会活動・・・ISO委員会の活動</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1, 各クラスの取り組みを円滑にするための啓蒙活動。 活動の振り返りカードを配付、回収、チェックをする。</li><li>2, コンポストの管理 自校給食のため、給食調理後に出た野菜の屑を回収し、コンポストを活用して土づくりをしている。</li></ol> <p>ボランティア委員会の活動</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1, 巻き芯の回収。</li><li>2, ペットボトルキャップの回収。</li></ol>		
独自メニュー		
<p>自校給食場からの野菜のくずから土作りの仕方・・・コンポストに野菜くずを入れて、スコップで刻み、ぬかと混ぜて土を作りました。コンポストがバケツ一杯になると放置して土になるのを待ちます。待つ期間は、夏場は約1~2週間、冬場は、約3週間で土が完成します。</p>		
		

不要な紙の回収や分別ごみについて



職員室のごみの分別リサイクル



2 講評・評価者からのアドバイス

評価者：  学校（園）長      教職員      その他（                      ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

<p>P 計画 役割分担やメニューの決定等について</p>	<p>全校児童が環境について考え、自分にできることに取り組めるよう、全クラスが配布されたISO 振り返りカードに省資源や省エネ、ごみの減量化に向けた目標や計画を年度初めに記入し、取り組んだ。ISO委員会児童は、学校全体の意識向上を目指して年度を見通した活動目標を設定した。</p>
<p>D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか</p>	<p>リサイクルボックスや紙ごみ回収ボックスの設置、巻き芯やペットボトルキャップの回収等の取組により、省資源・ごみの減量化を進めた。省エネの推進のため、消灯やエアコンの設定温度、ごみの分別等の呼びかけも行った。4年生は、学習の発展として、コンポストを活用した土づくりに取り組んだ。</p>
<p>C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか</p>	<p>各クラスの省資源やごみの減量化を意識した取り組みの様子等をISO 振り返りカードにまとめ、定期的に振り返りを行った。各クラスの成果や課題は、共有し、次の取組に生かすことができた。</p>
<p>A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか</p>	<p>省資源・省エネ・ごみの減量化の取組について学校全体でさらに推進できるようISO委員会では昨年度の活動の見直しを行い、各クラスへの声かけ等を積極的に行ったことは、全校児童の意識向上につながった。</p>
<p>その他</p>	<p>自校給食であることを生かし、給食室から出た野菜くずから土づくりを行った。コンポストを活用した土づくりは、環境教育の観点でたいへん効果的であった。</p>

3 1年間を振り返っての感想 *児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。*

- ・コンポストの活用で、野菜が時間をおくことで栄養のある土に戻っている様子を見ることができた。掃除の後の時間を使うなど委員会の児童の貴重な休み時間を使つての作業であったが、熱心にまじめに取り組む様子が見られ、環境への意識が高まっていった。
- ・各クラスの振り返りカードの回収がうまくいかず、毎月、点検をすることができなかった。

4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・自校給食で、コンポストの設置が可能な環境を生かしての取り組みではあるが、回数を減らしていく方向で考えたい。（今年度、同様に4年生の環境学習と合わせることができたら望ましいが、学年の取り組みによるため委員会として声掛けをする。）
- ・各クラスの振り返りについては忘れてしまうこともあるので、放送等で啓蒙していく。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月26日

平塚市立旭小学校

学校長 若杉 真由美

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・ベルマークを集め、集計したものを学校で使用する物へかえる。</li><li>・石鹸で手洗いをしているときは、水を出しっぱなしにしない。</li><li>・雑巾はバケツで洗い、汚れた水は三角コーナーに流す。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用していない教室、廊下やトイレなどの電気を消す。</li><li>・使用していない教室のエアコンは消す。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・給食をなるべく残さない。</li><li>・牛乳パックをリサイクルする。</li><li>・持ち物には名前をかく。(落とし物を減らす)</li><li>・封筒を再利用する。</li><li>・段ボールはまとめて資源ゴミに出す。</li><li>・裏紙を使う等。(職員室では裏面利用をゴム印で明示)</li></ul>
独自メニュー		
<p><b>学校全体での取り組み</b></p> <p>ベルマーク回収、インクカートリッジ回収を行い、全校で協力している。そのベルマークの仕分けを環境 ISO 委員が行っている。</p> <p>給食委員会が残量を減らすため、食に興味をもってもらう放送を行っている。</p> <p>夏休みに「ひらつかCO2CO2プラン」や「環境ポスター」への取り組みを呼びかけた。</p> <p>お昼の放送を使って、毎週金曜日に環境目標を呼びかけた。</p> <p><b>「できたかなカード」を使って学校全体と学級の年間環境目標への取り組み</b></p> <p>各クラスで毎週取り組むメニューをクラスごとに決める。クラスで毎週金曜日に振り返りを行い、「できたかなカード」に環境 ISO 委員がチェックする。できなかったところを次週も取り組んでいく。毎週、金曜日に学校全体で環境 ISO 目標を掲げて取り組んだ。</p> <p><b>環境教育の取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活科(花や野菜を育てる)</li><li>・総合的な学習(河内川の生き物調べ、稲作の体験学習)</li><li>・理科(植物の学習)</li><li>・社会(ゴミ学習、電気・水道・ガス)</li></ul>		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

<p>P 計画 役割分担やメニューの決定等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境 ISO 委員会で「できたかなカード」を作成し、全校に呼びかけた。</li> </ul>
<p>D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラス「できたかなカード」で毎週、環境について意識的に取り組む項目を選択し、振り返りをした。</li> <li>・児童集会で、環境 ISO 委員会がよびかけを行った。（エコ活動についての〇×クイズ等）</li> <li>・栽培委員会が、校内緑化と花壇の管理を行った</li> </ul>
<p>C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日、環境 ISO 委員が、各クラスの「できたかなカード」を回収し、チェックを行った。</li> </ul>
<p>A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お昼の時間の放送をつかって、環境 ISO 目標について話すことができたので、学校全体でエコ活動に取り組むことができた。これからも、環境にやさしい学校づくりをすすめていきたい。</li> </ul>
<p>その他</p>	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、委員会活動タイムに、各自の担当クラスに行き、ベルマークの箱と「できたかなカード」を回収した。各自が「できたかなカード」を見て、毎月の取り組みがなされているかを確認し、委員会からのコメントを記入した。取り組みがなされていない時は、その旨を各クラスにフィードバックを行った。</li> <li>・活動時間中にベルマークの番号別仕分けを行ったが、仕分けを行う時間が短く、回収したベルマークがたまってしまうので、活動時間を増やしたいという意見も出ていた。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の学校全体の取り組みを振り返る中で、ISO の取り組みが ...30%、〇...50%、 ...20%だったので、改善されるよう取り組みを見直していきたい。</li> <li>・ごみを減らすための取り組みである 3R「リデュース（無駄なごみの量をできるだけ少なくする）・リユース（一度使ったものをごみにしないで何度も使う）・リサイクル（使い終わったものをもう一度資源に戻して製品をつくる）」をポスター等で全校に呼びかけ、ごみの分別の取り組みをより一層すすめる。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 評価及び取組報告書

令和7年12月25日

平塚市立大野小学校

学校長 佐野 寿美代

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>水を大切に使う。</li><li>紙を両面使用する。</li><li>紙をリサイクルする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>使用していない教室や廊下の電気を消す。</li><li>移動教室の時や休み時間はエアコンを消す。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ごみを分別し、プラクルを集める。</li></ul>
独自メニュー		
<p><b>【全校での取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ISO 目標を設定・実施し、カードで振り返る。(1か月に1度の振り返り)</li><li>使用した紙の裏面を利用する。(学級、学校全体)</li><li>ごみの分別を行う。(紙資源を入れるためのリサイクルボックスや、プラクルのゴミ箱の設置。)</li></ul> <p><b>【委員会での取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>月に一回、クラスの ISO 目標が達成できているか確認。</li><li>省資源、省エネ、ごみの減量化に関するポスター作成と掲示。</li></ul> <p><b>【家庭での取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ひらつかコツコツプランの実践</li></ul> <p><b>『取り組みの紹介』</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><b>ISO 目標を学校で設定、「ISO 振り返りカード」による振り返り</b> 環境保全の意識を育み、実行していくために、年度初めに ISO 目標を委員会で設定した。月に一回、目標を達成できたか振り返るとともに、翌月の方針を考えるようにしている。「ISO 振り返りカード」は、毎月委員会でチェックしている。</li><li><b>ごみの分別について</b> 分別の習慣をつけるため、各クラスに燃えるごみとプラクルのごみ箱を設置して、ごみの分別を行っている。ごみ箱には、「燃えるごみ」「プラクル」の掲示をして、確実に分別できるようにしている。 また委員会の児童が週1回、コンテナ前でプラクル回収を行い、分別に力を入れている。</li></ul>		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

<p>P 計画 役割分担やメニューの決定等について</p>	<p>年度初めに、役割分担やメニューを職員や児童に分かりやすく提示して決定していた。持続可能な取り組みとして定着していた。今後も続けていきたい。</p>
<p>D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか</p>	<p>年度初めに目標を決め、各クラスで掲示していたので、児童が取り組み内容をすぐ確認することができ、取り組みに繋がった。また、委員会の児童が環境保全活動推進のためにポスターを作ったり、振り返りカードの記入を学校全体に呼びかけをしたりしたことで、学校全体で協力して取り組んだ。</p>
<p>C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか</p>	<p>月に1回各学級の振り返りカードを確認し、委員会の児童がコメントを書いた。児童のやる気の向上につながった。</p>
<p>A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか</p>	<p>委員会の児童が、プラクル回収を行い、分別がしっかりできているのかチェックをした。そのことにより、さらに分別への意識が高まった。</p>
<p>その他</p>	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

児童からは、毎月 ISO の振り返りをしてコメントを書くことや、ポスター掲示など、自分たちで決めた取り組みができたことに充実感を得ていた。各クラスで振り返りができていなかったこともあったため、毎月振り返りをすることも呼びかけていきたい。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

今年度も前年度に引き続き、今まで行ってきた活動に加え、委員会での当番活動としてプラクル回収を行った。今年度行ったことに加え、さらにアイデアを児童から得て取り組むことで、学校全体が ISO に対して意識を高められるようにしていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月29日

平塚市立中原小学校

学校長 清水 美智誉

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

### 共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
水を大切に 「必要な分だけ使おう。」 「出しゃばなしにしない。」	電気を大切に 「使わないときは電気を消す。」	リサイクルしよう 「ごみを減らして中原小をきれいにしよう。」

### 独自メニュー

#### 【各委員会の取り組み】

##### ・ISO 美化委員会

**ステップアップカードの実施** ステップアップカードを配布し、毎月委員会の児童が担当クラスに行って各クラスのサポートをしました。

**リサイクル箱の設置** 印刷物や不要な紙類の回収箱をクラスごとに設置し、裏紙の積極的利用につとめました。

**学校保健安全委員会** 「中原小学校クリーン大作戦」をテーマに、全校で正しい掃除の仕方について考えました。美化委員会で見本の動画を作り、視聴し、自分たちの掃除の仕方についてふり返りを行いました。

**クリフラフェスティバルに向けて** 美化委員会の手作り掃除用具（おそうじポッキー）の配布。

##### ・栽培委員会

**花壇の整備** 全校児童が気持ちよく過ごせるように花壇の整備を行い、季節の花々を植えました。今年は大根も育て、大根クイズに正解した児童に収穫体験と持ち帰りの企画をしました。

##### ・保健委員会

**包装紙のリサイクル** トイレットペーパーを配布する際に包装紙を外し、リサイクルしています。

##### ・クリフラフェスティバル

クリーンとフラワーを意味する「クリフラ」。全校児童と保護者ボランティアが一緒になり、みんなで大掃除。その後、PTAの方から、花の植え方を教えていただきました。保護者にも手伝っていただき、チューリップ・スイセンの球根やパンジーやビオラの花の苗を植えました。学校が花でいっぱいになる春が楽しみです。



おそうじポッキー

### 独自メニュー

#### 【各クラスでの取組】

教室には燃せるごみ用とプラクル用の2つの箱を設置して分別ができるようにしています。

ステップアップカードを使って、共通のふり返りを行っています。

トイレやろうかの電気は必要なときにつけ、使用後は消すようにしています。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員  その他（ PTA ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	役割が明確となっていました。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	役割分担の協議を重ねた内容になっていました。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	実施したことを確認しました。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	活かされていると判断しました。
その他	クリフラフェスティバルでは、「掃除の時間が少し足りなかった」という反省と、「家では掃除嫌いな子が、保護者の前で楽しそうに取り組み姿が見られて嬉しかった。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

各委員会の児童が取組の意図を理解しながら活動していました。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

独自メニューにある通り、ステップアップカードを利用したふり返りやおそうじポッキーの配布などを継続していきたいと思います。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月28日

平塚市立豊田小学校

学校長 海野 真一郎

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<p>○資源を大切に ・各クラスにリサイクルボックスを設置する。 ・印刷はなるべく両面印刷や裏紙の活用をする。 ・水を出しっぱなしにしない。 ・掃除のときにはバケツに水を汲んで雑巾を洗い、節水を心がける。 ・連絡事項は、校支援内の回覧板、掲示板を使い、紙を使わない。</p>	<p>○電気の節約 ・教室やトイレ、廊下などの明るさに気を付けながら節電する。 ・移動教室など人がいなくなるときは電気を消す。</p>	<p>○ごみの分別回収 ・回収場所に分別の箱を設置する。 ・燃せるごみとプラごみ用のごみ箱を設置する。 ・給食の時に出るごみ(ストロー・ストローの袋、パンの袋など)を分別し、結んで入れる。 ・牛乳パックの回収をする。 ○修理・修繕の徹底 ・児童用のイスや机等</p>

## 独自メニュー

### 【全校児童と職員による取り組み】

- ・環境委員会が作成した「ISO チェックカード」を使って節電・節水・ごみの分別回収の3項目に取り組んでいる。各クラスでの振り返りを3か月に1回に増やし、より意識的に取り組むようにして行った。各クラスの振り返り用紙に環境委員会がコメントをして、ISO 活動の推進協力を呼びかけた。
- ・清掃環境を整えるために、掃除用具の必要本数の表を作り掃除用具ロッカーにほうき・塵取りなどが十分にあるかを環境委員会が点検・確認・補充を行った。
- ・リサイクルボックスを各教室に設置して、ごみの減量化を意識した。
- ・各教室に燃せるごみとプラごみ用のごみ箱を用意し、ごみの分別が分かりやすいようにした。
- ・職員室や校内に燃せるごみ、プラごみ、燃せないごみ、生ごみ、カン、ビン、ペットボトル、ペットボトルのキャップなどのごみ箱を設置し、分別に努めた。
- ・1月の給食週間では、給食の残量を減らすための「ペロリカード」(自分で決めた量を完食できたら印をつける。1週間完食出来たらシールをプレゼントする。)の取り組みを行った。また、栄養教諭からカルシウムや給食の栄養についての講話をしていただき、給食をしっかりと食べることの大切さや、給食を残さずに食べることの意識づけを図った。





## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

<p>P 計画 役割分担やメニューの決定等について</p>	<p>目標設定や取り組むメニューについて、年度初めに全校で確認をする場があると、より児童一人ひとりが自覚をもって取り組むことができるようになると思われる。</p>
<p>D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか</p>	<p>各学級での取り組みについて、児童一人ひとりが「自然になんとなく」取り組んでいる。目標設定を明確にすると、取り組む姿勢がより自発的・積極的になると思われる。</p>
<p>C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか</p>	<p>3か月ごとの振り返りに、「学校全体での電気・水道の使用量を昨年度と比較する」などの具体的な数値の比較を行うことで、各自の取り組み状態の振り返りや行動面での質的向上がより図れるようになるのではと思われる。</p>
<p>A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか</p>	<p>年間を通じた振り返りも、「学校全体での電気・水道の使用量を昨年度と比較する」などの具体的な数値の比較を行うことで、各学級や各自の取り組みの振り返りや見直しをより効果的に行うことができると思われる。</p>
<p>その他</p>	<p>以前は教育総務課にて電気・水道の使用量のデータは校支援ライブラリーに掲載いただいていたおり、ISOの見直しの際、大きな手掛かりとしていた。今後ご提示をいただくと、ありがたい。</p>

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- 「栄養士さんのお話を聞いて、牛乳や給食を残さず食べようと思った。」
- 「水拭きをする時はバケツに水をくむこととか、できることをがんばりたいと思った。」

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

○年度初め、学校としての目標値の設定を行い、全校の力で目標を達成できるようにとりくむことができるようにしたい。

# 評価及び取組報告書

令和 8 年 1 月 3 0 日

平塚市立神田小学校

学校長 須山 泰

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を洗う時に水を出しすぎない。(節水を心がける)</li> <li>・道具を大切に使う。</li> <li>・クレンザーを使い過ぎない。</li> <li>・水を出しっぱなしにしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に教室を出る人は、電気を消す。(日直・係など責任をもっておこなう。)</li> <li>・消灯確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ごみの分別を徹底する。(紙やプラゴミなど。)</li> <li>・裏紙の再利用を心がける。</li> <li>・ペットボトル、空き缶、資源ごみなどを分別して回収する。</li> </ul>
独自メニュー		
<b>各クラスの取組みメニュー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係の児童中心に、1週間の取組みの振り返りを学級の ISO ファイルに記入をする(毎週金曜など決めて取り組む・原則毎週)</li> <li>・ゴミの分別をする。(プラクル・もえるごみ)</li> <li>・各分別ゴミ、段ボールなども随時処分(1棟東階段横木製青 BOX)</li> </ul>		
<b>職員の取組みメニュー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷</li> <li>・リサイクル用紙の利用</li> <li>・30枚以上の印刷物は、印刷機で行う。コピー機を使用しない</li> <li>・職員会議のペーパーレス化</li> <li>・ゴミの分別と減量化</li> <li>・適切なエアコン使用</li> <li>・省エネを実践</li> </ul>		
<b>全校の活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスに、リサイクルボックスの設置</li> <li>・「ひらつかコツコツプラン」への参加</li> </ul>		
<b>委員会の活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO チェックカードの配布、回収とコメントの記入</li> <li>・分別の仕方についてのよびかけ</li> </ul>		

- ・ 緑の募金
- ・ 「さわやか神田クリーンアップ大作戦」週間の計画・よびかけ  
(年間3回：7月、12月、3月)
- ・ リサイクルボックス活用の呼びかけと回収

### ISO レンジャーの動画

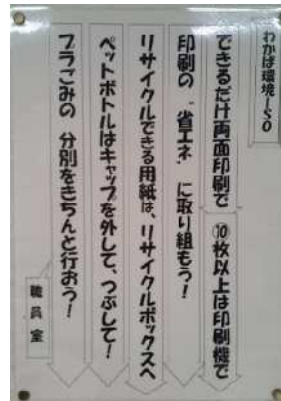
・ 節水、リサイクル用紙の利用、物は大切に使う等を、児童が ISO レンジャーや悪役に扮して呼びかける動画の作成。



### 今年度使用している ISO チェックカード



### 職員室の分別、ペーパーレス化



### 各クラスに設置しているリサイクルボックス



各クラスのリサイクルボックスを回収し、委員会で集めた紙をまとめています。



## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	学校の状況から委員会の児童と一緒に計画を立てた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	各担任の協力を得ながら、呼びかけを繰り返して全校共通理解を図った。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	ISO チェックカードで振り返りを行い、取組状況を把握した。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	昨年度を参考に改善しながら今年の活動を設定し、行った。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

児童が自ら取り組みたいこと（ISO チェックカード、リサイクルボックスの紙の回収、呼びかけ動画作り等）を担当教員に伝えて取り組むことができ、児童の主体性を図ることができて良かった。来年度は、今年度作成した動画を見た児童が、より一層 ISO の取組を意識してくれると良いと思う。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

ISO チェックカードに記入できていないクラスが多く、呼びかけを行うまで配布を停止した期間があったので、来年度は毎月各クラスへの呼びかけを行う等して、毎月クラスで ISO の取組を振り返る時間を取れるようにしたい。リサイクルボックスの紙の回収は、毎月行うことができなかったため、毎月行う日を決めて、児童が自分で休み時間に回収に行けるようにしたい。

# 評価及び取組報告書




令和8年 1月30日

平塚市立 城島小学校

学校長 沢井 哲章

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・両面使用した紙の資源化</li><li>・水をできる限り出しっぱなしにしない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・使わない電気を消す。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・給食時のプラクル分別</li></ul>
独自メニュー		
<p>1. クラスでの環境目標の設定と振り返り</p> <p>各クラスでの環境目標の設定とふりかえりを今年度も続けている。月末には環境委員会が用紙を回収し、取り組みの様子を確認、次につながるようなコメントを記して評価している。今年度は各クラスの環境目標を廊下に掲示し、それぞれの活動を視覚化できるようにした。次年度は学校保健環境委員会で環境について学ぶ場があるので、各クラスの活動の様子や工夫などを周知できる場なども作れるとよいのではないかと考えている。</p> 		
<p>2. 落ち葉集め『クリーンきじま』</p> <p>例年行っているグラウンドや校庭遊具周辺の落ち葉拾いを行う校内美化活動『クリーン城島』を10月～11月にかけて実施した。今年度もたてわり班で、1～6年生が協力して活動することができた。高学年が低学年に声をかけながら導く姿も見られた。</p> <p>環境委員の児童は事前に熊手や蓑などの用具の準備と片付けを行い、全校児童の落ち葉拾いをサポートできたことも良かった。次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。</p> 		
<p>3. 花（パンジー・ビオラ）の栽培</p> <p>今年度も、環境委員会の活動の1つとして、パンジー・ビオラの栽培を行っている。卒業식을綺麗な花で彩ることを目標に、毎日の水やりや咲き終わった花の摘み取りなどを行ってきた。毎朝登校直後からの活動だが、子どもたちも欠かさずに動いている。真剣に取り組む児童の姿に感心すると同時に、活動の大きな意義を感じている。</p> 		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者：  学校（園）長      教職員      その他（                      ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	児童が主体的に校内環境の整備に取り組み、考えられるような機会になっている。各クラス目標を設定し、振り返りを行いながら活動に臨むことはよい学習になっている。「クリーン城島」では全校行事として、実施しており、クラスでも全校でも取り組みをもつことができるよい計画であると考えている。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	クラス目標は一か所に掲示し、発達段階に応じて各学年ごとに目標を確認出来て、相乗効果があると思った。花の栽培については、卒業式に飾ろうという目的に向かって、委員会を中心に全校で毎朝水をやりしおれた花を摘む作業を行った。「クリーン城島」では、たてわりで落ち葉拾いを実施した。上学年は下学年と行うことで、意識を高くもって活動に取り組むことができていた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	各クラスでの毎月の環境目標の設定とふりかえりを行い、月末に用紙を回収することで、ふりかえりをする必要性を作り、各クラス、児童それぞれがISOについて考えるよい機会となっていた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	月末には環境委員会が用紙を回収し、取り組みの様子を確認し、コメントを添えていることは、それぞれの見直しにつながっていた。
その他	照明をつけたままにしたり、紙のリサイクルを行い方についてもクラスによってばらつきがあったりする。児童中心に何か取り組みができればよいと思う。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

環境委員会の活動として、各クラスでの月の環境目標の設定と振り返りの活動が3年目となり、今年度は各クラスの目標を掲示する場を設けた。環境委員会の児童が「物を大切に使うこと」を目標にしているクラスが多いことに気づき、「ものをたいせつに」や「落とし物に注意する」等のポスターを作ったらどうかという声が出ていた。

落ち葉集め『クリーンきじま』では、木の数が多い城島小学校なので、落ち葉も多く、時間内で拾いきることができなかったという声があった。沢山の葉を集めることができて楽しかったという声が多かった。

冬休みの前から、パンジー・ビオラの栽培も行った。昨年度は卒業式を子どもたちが育てた花で飾ることができた。環境委員会の5年生の児童が日々の水やりの活動の中心となって動いてくれている。

感想は環境委員会の児童から聞いたものを記載。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

今年度も行った『クリーン城島』や植物の栽培については次年度以降も続けていけたらと思う。各クラスの環境目標の設定については、上記でも触れたとおり、各クラスの活動や工夫を発表等を通して広める場が作れてもいいのではないかと感じている。次年度も児童の意向を大切にしながら、活動を広げていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月8日

平塚市立岡崎小学校

学校長 勢山 真理子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・節水に心がける。</li><li>・紙の両面を無駄なく使う。</li><li>・習字の筆はペットボトルの中に入れた水で洗う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・節電に心がける。</li><li>・エアコンを付けっぱなしにしないように気を付ける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・プラクルと可燃ごみを分別する。</li><li>・資源再生物を決まった場所に集めて、リサイクルする。</li><li>・職員会議の時にはパソコンを活用し、紙の使用を減らす。</li></ul>
独自メニュー		
<p>学級にて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・プラクル用と燃えるゴミ用のごみ箱を設置し、分別を心がけた。</li><li>・移動教室の時には照明やモニターの電気、エアコンの電源を切るようにした。</li><li>・「ひらつか CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>プラン」への参加を呼びかけた。</li><li>・エアコンの適切な設定温度になるよう気を付けた。</li></ul> <p>委員会の児童による取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・花壇の管理。(毎日の水やり、草取り、花の植え替え)</li><li>・2週間に1回、各教室のごみ回収を実施した。</li><li>・緑の募金を実施し、花の苗や球根を植え校内緑化に努めた。緑の募金に関しては、実施前に全校放送で呼びかけたり、全学年の教室をまわって説明をしたりして協力を促した。</li><li>・年に2回「そうじがんばろう週間・大掃除」を実施した。高い場所のほこり取りや、ドアのレールや柵の間など、ほこりが溜まりやすい場所の掃除に重点的に取り組んだ。</li></ul> <p>職員による取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ごみの分別と資源置き場の整理整頓に心がけた。</li><li>・紙の裏面を有効活用した。</li><li>・職員会議資料はペーパーレス化し、紙を使う場合は裏紙を使用した。</li><li>・連絡事項はPCを活用し、周知した。</li></ul>		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	児童や職員が日常で取り組める活動内容を設定することができた。具体的な設定があったため、積極的な行動につながった。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	各学級や児童の実態に合わせた身近にできる内容があったため、全校で協力して取り組むことができた。環境に対する意識が高まったので、習慣化につなげたい。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	児童や職員が取組状況についてこまめに確認することができなかった。委員会など限られた場だけでなく、日頃から確認すべきだった。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	委員会の児童が中心となって、花壇の管理やごみの回収などを行った。環境への意識が高まり、それを全校に広めようとする姿勢も見られた。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 *児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。*

- ・委員会の活動を通して、環境について考える時間をつくることができた。自分たちだけでなく、全校児童の環境への意識も高めていきたい。
- ・緑の募金や、花壇の水やりなどを全員で協力してやることができた。事前に放送などで呼びかけたり、各教室をまわって説明をしたりしたことで、協力する人が増えたと思う。
- ・環境のために自分たちができることについて考えて、活動することができて楽しかった。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・ごみの分別や節水・節電など、日々の生活の中で意識して取り組む姿が見られた。今までの積み重ねもあり、児童の中で、自然と環境のことを考えることができていると感じた。
- ・環境委員の児童は、水やりやごみ回収等の毎月の活動、緑の募金活動など、意欲的に取り組むことができていた。来年度以降も活動を継続していきたい。今後、活動内容が児童の意見等によって見直されると、もっと活動を活性化できる。そして、より活動の幅を広げられると思う。
- ・記名のない落とし物が多いため、学級や学年、全校など、様々な機会を通して落とし物を減らす活動に取り組み、物を大切に作る気持ちを育てていきたいと思う。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年2月13日

平塚市立金田小学校

学校長 神田 光代

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・水の出しすぎに気をつけよう</li><li>・裏紙の利用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・使っていない電気は消そう</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ごみの分別</li><li>・パン袋を結んで捨てる</li></ul>
独自メニュー		
<p>【各学級での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「できたかなカード」を使った共通メニューへの取り組みの振り返り</li><li>・ごみの分別の徹底</li><li>・給食の残量を減らす</li></ul> <p>【ISO委員会児童の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「できたかなカード」の回収と各学級へのコメント</li><li>・プラクル回収日のお知らせ放送</li><li>・資源ごみの分別確認</li><li>・ゴミの削減を促すポスターの作成</li></ul> <p>【教職員の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校支援の活用によるペーパーレス化</li><li>・インクジェットの回収・仕分け</li><li>・ゴミ分別の徹底</li></ul>		

### できたかなカードの活用

省資源・省エネ・ゴミ減量化について、毎月末に各学級でふり返りを実施する。

各項目に対して、**・〇・**の3段階で自分たちの取り組みを評価し、児童は自分たちの頑張ったことや翌月に気を付けたいことを書き、担任は大人の立場から見た子どもたちの様子やクラスに向けたメッセージを記入する。クラスで記入が済んだカードは、ISO委員会の児童が回収し、担当クラスのカードをチェックしてコメントを記入する。

### ISO委員会児童によるプラクルゴミの回収の周知

毎週水曜日の朝には、プラクルゴミの回収日を知らせる放送を行い、回収かごを準備する。また、各クラスから出たプラクルゴミの分別を確認する。

### ISO委員会児童による掃除の仕方の確認・呼びかけ

・掃除の仕方動画を作成し、各クラスで視聴する。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	ISO委員会の児童を中心として、子どもたちそれぞれが自分の役割に責任を持って、積極的に活動していた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	子どもたちから教職員まで、学校全体で省資源・省エネ・ゴミの減量化にとりくんでいた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	各クラス「できたかなカード」にきちんと記録ができていた。ISO委員会のクラス担当者が回収を怠っていたことがあった。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	環境について、学校全体で考えるように心がけた。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

ISO委員会の児童が主になって「できたかなカード」で省資源・省エネ・ゴミ減量化について呼びかけているが、児童によってはカードの回収を忘れてしまい、毎月のチェックが疎かになっているクラスが見受けられた。学校全体としては、ISO委員会の活動について毎月振り返ることが根付いているので委員会としての活動を適切に行えるようにしていきたい。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

プラクルごみの回収日を知らせる放送や、資源ごみの分別確認日を意識して委員会の活動はできていたが、「できたかなカード」でのフィードバックが適切でなかったことがあったので、ISO委員会を中心に働きかけていくことで学校全体がよりよい活動ができるようにしていきたい。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月26日

平塚市立土屋小学校

学校長 五十嵐 透

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の再利用に取り組む</li> <li>水のむだづかいをしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用していない教室、廊下、トイレ、テレビ等の電気を消す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の残量を少なくするように努力する</li> <li>資源再生のため、分別を徹底する(プラクル・ダンボールなど)</li> </ul>
独自メニュー		
<p>【各クラス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「土屋小学校の環境をよくしよう!」という ISO の目標を立て、各クラスで ISO できたかなカードにチェックを行っている。取り組みメニューは「紙のむだづかいをしない」「水のむだづかいをしない」「使っていない場所の電気を消す」「給食の残量を少なくする」「燃えるゴミとプラゴミを分ける」の5項目にし、児童が意識して取り組みやすいようにしている。担任や係の児童が1か月ごとに振り返りをし、取り組みメニューの中で改善すべき点を意識し、次に生かしている。(具体的には、「給食の残量を減らす」「電気の消し忘れに気をつける」)</li> <li>給食の残量調査では残さないように呼びかけている。</li> <li>ひらつか CO2CO2 (コツコツ) プランに取り組む。</li> </ul>		
<p>【学校をきれいにしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>菊作りをする。(3・4年生)</li> <li>清掃はたてわり班で行い、みんなで協力しきれいで気持ちのよい学校を目指している。</li> </ul>		
<p>【ものを大切にしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏紙として再利用をする。</li> <li>各教室(特別教室を含む)に、普通ゴミ箱とプラクル回収箱を設置し、分別の徹底をする。</li> <li>テトラポット、インクカートリッジを回収しリサイクルする。</li> <li>掃除道具をきれいに収納する。</li> </ul>		
<p>《職員独自メニュー》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷の枚数は無駄のないようにする。両面印刷や裏面利用で印刷をする。職員室に裏紙をサイズ別に収納するボックスを設けて利用している。</li> <li>毎月の定例会議はペーパーレス化を実施し、校支援の電子会議室を利用して行う。必要に応じてプリントアウトし保存する。</li> <li>掲示資料の作成(ペーパータオルの使い方)</li> </ul>		

## 独自メニュー



掲示資料



省エネの呼びかけ



資源の分別・再利用



ISO できたかなカード



職員室の取り組み

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員  その他（保護者）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	みんなが積極的に活動できていました。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	学校全体で協力しながら取り組んでいました。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	目標にそって、週ごとにしっかり振り返りができていました。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	反映され、改善できていると思います。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

給食の残量は、苦手な物を少しでも食べようとがんばったり、クラスみんなで協力して完食を目指したりすることで、残量がかなり減少した。裏紙の回収ボックスを利用して紙の再利用に学校全体で取り組むことができた。来年度も引き続き、ISO できたかなカードを活用し、ふりかえりをしていきたい。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

各クラスで取り組んだ活動については、今後も継続していきたい。来年度は、児童会活動や学年によるポスター作成など省資源、省エネ、ごみの減量化について呼びかけていきたい。また落とし物が多かったので、今後も記名を呼びかけ、物を大切にできるよう意識づけをしていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月30日

平塚市立 吉沢小学校

学校長 大野 隆一

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<p>紙の無駄使いを減らす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>両面印刷(コピー)、裏面利用印刷(コピー)、コピーをとらない工夫をした。</li><li>裏面の使える紙、ポスターやカレンダー等を有効利用した。</li></ul> <p>水の無駄使いを減らす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>必要以上の水を使わぬように声掛けを行い、「節水に努めた。</li></ul>	<p>電気の無駄使いを減らす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>使用していない場所の照明は、消した。*特にトイレや廊下。</li><li>冷暖房利用時は、室温に注意気を配り、こまめに温度調節をし、長時間の移動時には消すこととした。</li><li>児童が下校した際には、教室の電気器具は速やかに消し、できるだけ職員室で作業を行うよう心がけた。</li></ul>	<p>資源ごみ分別の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"><li>プラクル専用ごみ箱を各教室に設置し活用した。</li><li>分別回収したごみは、児童が所定の場所に設置されたゴミ箱にもっていき、ゴミ袋ごと捨てずに、袋は再利用した。</li></ul>
独自メニュー		
<p><b>清掃活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>校内清掃を徹底するため、全学年の教室にある用具庫の内側に一覧表を掲示した。これに基づき、環境緑化委員が用具の数や清掃状況を定期的に点検し、その結果を昼の放送で全校生徒に報告することで美化意識の向上を目指した。</li></ul> <p><b>施設保守点検補修</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>児童一人ひとりに「学校施設はみんなの財産である」という意識を持たせ、施設・設備の長寿命化と安全性の確保を図る。また、不具合を早期に発見し、校内の安全担当や事務室等へ報告する仕組みを構築することで、事故を未然に防止した。</li></ul> <p><b>「ひらつかCO CO プラン」への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>夏休みに各家庭で取り組んだ。(参加は任意)</li></ul> <p><b>トイレトペーパーの巻き芯回収</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>トイレトペーパーの巻き芯を回収することを学校はもとより、家庭にも呼びかけイベントでのマスコットキャラクターを作成することで再利用した。</li></ul> <p><b>校内緑化活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>環境美化委員を中心に、花壇や校庭の隅にヒマワリとホウセンカの種をまき、水やりをした。</li></ul>		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	4月当初の段階で環境緑化に関わることにについて共通認識のもと、スタートすることができました。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	概ね協力して取り組んでいますが、さらなる深化を目指している段階です。一部で意識の差が見受けられたため、現在は上級生（またはリーダー層）による指導や、活動の振り返りを行う機会を増やします。全員が『自分事』として協力し合えるよう、フィードバック体制を整えていく必要があると考えます。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	清掃用具の管理と清掃状況については環境緑化委員が点検した結果は残っているが、これだけでは効力を発揮するとは考えづらい。今後の反省としたい。 また、校内の安全点検については、定期的に行われ、破損箇所等があれば、速やかに対応ができています。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	昨年度提案されていた「清掃チェックシート」が年度の途中で断ち切れてしまった掃除場所がありました。年度の終わりまで継続指導していきましょう。
その他	特になし

## 3 1年間で振り返ったの感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

環境緑化委員会での振り返りにおいて、「低・中学年は熱心に取り組んでいる一方で、高学年に取組の停滞が見られ、教室環境が学習に最適とは言えない」という意見が出された。

この解決に向け、上級生が模範としての自覚を持てるよう、低・中学年による清掃見学会や、上級生が下級生へ清掃指導を行う交流機会を設け、全校的な美化意識の向上を図ります。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

### 記録と共有の徹底

各清掃場所において、児童・教職員による「清掃チェックシート」を作成し、日々の活動内容を可視化することで、取組の停滞を防ぎ、全校で情報を共有していきたい。

### 評価とフィードバック

集計された記録に基づき、学期ごとに活動の振り返りを実施。良好な取組事例を学校だより等で全校・家庭へフィードバックすることで、全員が協力して継続できる体制を確認する。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月26日

平塚市立 金目小学校

学校長 石井 育代

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
紙資源を大切にします。 節水を心がける。 落とし物を減らす。	節電を心がける。 未使用時の教室を消灯する。	裏紙を使用する。 分別回収を進める。
独自メニュー		
<b>学校・学級</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・学級での目標とふり返りカードの掲示 「落とし物」「節水・節電」「ゴミの分別」の項目について環境美化委員会を中心に各クラスの児童と教員で目標を決め、掲示する。毎月、月末に各クラスで3つの目標を達成できたか振り返る。</li><li>・リサイクルボックスの活用 各教室に卒業生制作の紙資源ごみ回収用ボックスを設置し、紙資源の回収やリサイクルに努める。</li><li>・プラクルボックスの活用 各教室にプラクル専用のごみ箱を設置し、給食時のストロー・パンの袋等を中心に分別回収をする。</li><li>・各クラスの落とし物や校内の落とし物置き場の設置 定期的に校内の落とし物を全クラスに回覧し、持ち主を探して返却する。</li><li>・学校園や学年園の整備を行い、学年ごとに除草作業に取り組む。</li></ul>		
<b>環境美化委員会</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・放送でふり返りの確認を呼びかけた。ふり返りカードにコメントを書いて返却した。</li><li>・水道に「かながわの水のふるさとシール」を貼り、神奈川の水の供給先や節水の大切さについて学んだ。</li><li>・節水を呼びかけるポスターを作製・掲示した。</li><li>・各クラスで節電やゴミの分別を呼びかけ、分別の仕方を間違っていた際には委員会の子もたちが正しく分け直した。</li></ul>		
<b>教職員</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・印刷及びコピー等紙の両面使用や再利用</li><li>・職員電子会議室でデータ保存等の活用</li><li>・こまめな紙資源の回収</li><li>・教材見本の業者回収</li><li>・資源ごみの再利用、有効活用</li><li>・学期末、年末、年度末の物品整理及び廃棄</li><li>・ファイル等の再利用</li><li>・プリンター用使用済みカートリッジの回収</li></ul>		

## PTA

- ・プリンター用使用済みカートリッジの回収
- ・ごみの持ち帰りの奨励

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	今年度も全校での取り組みを「落とし物」「節水・節電」「ゴミの分別」の3つに絞って推進したことが、わかりやすくよかった。取り組みやすかった。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	「落とし物」「節水・節電」「ゴミの分別」の全校統一の項目について、各クラスで目標を決めてクラスのみならず協力して全学級で取り組むことができた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	毎月クラスごとに目標に対する活動のふり返りを ○ で記録した。そのふり返りを委員会の児童が確認して、励ますコメントを書いて各クラスに返却した。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	委員会の仕事として給食で出るストローやパンの袋の分別が、昨年度よりも意識して取り組むことができた。ゴミの減量化につなげることができた。
その他	環境美化委員が中心となって、ISOの活動を積極的に行うことができた。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

### ○環境美化委員の児童の感想

- ・環境のために委員会のみならず協力してできていた。この金目小がきれいになるために最善を尽くした。
- ・環境美化の目標をかなえられた所がよかった。
- ・6年生が5年生のことを支えたり、わからないことを教えるのは難しかったり、大変なこともあったけど1年間環境美化委員としてやれてよかったと思った。

### ○各クラスの反省から

- ・物には名前を書くように心がけたので、去年より教室の落とし物が減った。
- ・クラスのみならず意識して節水・節電を心掛けることができた。人まかせにしないでちゃんとできた。
- ・牛乳パックを開いたり、パンの袋を結んだりして、ゴミを減らすことを意識することがみんなができていた。
- ・たまに燃えるゴミにプラゴミが間違えて入っていることがあったから、混ざっていたら直して声をかけた。
- ・電気がつけっぱなしはなかったが、時々水がぼたぼたしている時があったので止めた。なくしたい。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・今年度も「落とし物」「節水・節電」「ゴミの分別」の3観点として、ISOを意識することができてよかった。
- ・引き続き各学級で毎月ふり返りを行い、全校で意識を高めて取り組みを継続していく。
- ・委員会の仕事として、給食で出るストローやパンの袋の分別をさらに意識してゴミの減量化につなげ、給食をできるだけ残さないように、昼の放送などで呼びかけをしていく。
- ・今年度は積極的に「ゴミ拾いパトロール」を実施することができなかったので、来年度は取り組んでいく。
- ・職員会議のペーパーレス化が進んでいる。裏紙利用を継続していきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月15日

平塚市立横内小学校

学校長 牧野 賢治

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>紙の裏面を利用する。</li><li>リユースを心掛ける。</li><li>水を出しっぱなしにしない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>電気の無駄遣いに気を付ける。</li><li>教室を離れる時、窓やドアを閉める。</li><li>エアコンの設定温度を確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ゴミの分別に取り組む</li><li>給食の残りを減らす。</li></ul>

## 独自メニュー

ISO クラス目標ポスターの掲示

「できたかなカード」の活用



## 独自メニュー

### 【校内美化】

学校で「できたかなカード」を作成し、各クラスでISOの目標を決め、取り組んだ。環境美化委員が2か月に一度「できたかなカード」を回収し、目標達成できたかどうか確認することでISOへの意識を高めるようにした。

各クラスでISO目標を決め、廊下に掲示し、それらを達成するべく、各学級の実態に合わせて指導と活動を学校全体で取り組んだ。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員  その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	委員会や学年クラスでISOに向けた計画を立てることができた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	職員の清掃や校内美化など、全体でやっていく取り組みはできている。教室を離れる際、大型テレビや電気がつけたままにしまうことがあったため、担任からの声掛けや最終確認を行って教室外に出るようにしたい。 校内美化では、全校をあげて清掃活動に取り組み、学校環境整備に努めた。花壇は、環境美化委員が草むしりを行い、綺麗に整えた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	2か月に一度できたかなカードを活用し、各教室で取組状況を記録することができた。しかし、環境・美化委員会の子どもたちは「できたかなカード」を回収し忘れるなど、あまり学校環境維持の意欲を高めることができなかった。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	子どもたちの電気の消し忘れや水の止め忘れなどが少しずつ減ってきている。昨年度に引き続き、大人（教職員）の意識も高めていくことが必要である。
その他	裏面を保存しておく棚を使うことで、裏面が活用されている。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

校内にゴミが落ちていたら拾ったり、進んで掃除に取り組んだりすることを通して学校を綺麗にすることができ、さらにみんなが気持ちよく過ごすことができ嬉しかった。また、電気や水を大切に使うためにこまめに電気を消したり、水の量を考えて使ったりすることができた。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

校内全体としてはISOの意識を高めることができなかった。ISOの大切さやどんなことがISOになるのかなど紹介する機会を設けたい。また、放送などで月に一度の頻度で呼びかけたり、ポスターを廊下に掲示したりして、ISOの取り組みを意識する機会を設けたい。

花壇では、草むしりの活動に取り組み、きれいに整えることができたが、花を植えることによって、さらに児童の意欲も上がり、もっときれいにしたいという気持ちが強くなるのではないかと考えた。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月29日

平塚市立八幡小学校

学校長 上田 洋一

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。

評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源の有効利用を考える</li> <li>・節水を心掛ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していない場所の電気や冷暖房、扇風機の電源をオフにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃えるゴミ、プラゴミ等、分別をしてゴミを回収する。</li> </ul>
独自メニュー		
<p><b>資源の有効利用</b></p> <p>各教室に資源ごみと裏面が使える紙の箱を設置し、再資源化や裏面利用を推奨し、児童への指導も行った。配布物の印刷の際のミスや余ったプリントについては印刷室、職員室の後方に紙のサイズ別に分類した裏紙ボックスを設置し、積極的に利用している。また、会議等諸連絡は校務支援ソフトの掲示板を用いて PC で行うことで、紙の節約やマスター代の節約へとつなげている。</p>		
<p><b>ペットボトルキャップのリサイクル</b></p> <p>(株)日本クロージャーの取り組みで、八幡小学校にペットボトルキャップ回収ボックスを設置した。ペットボトルキャップを溶かして、ごみ袋にリサイクルする。集めたキャップがまとまった量になったらごみ袋にリサイクルされ、学校へと還元される。児童による各家庭からのキャップ持ち込みも定着している。</p>		
<p><b>節電・節水の呼びかけ</b></p> <p>環境委員会を通じて、節電や節水を呼び掛けたりポスターを作成したりして、学校全体で意識できるようにした。</p>		

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校(園)長  教職員 その他( )

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	前年度の目標を継続し、目標達成に向けて一年間取り組むことができた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	裏紙利用や古紙の回収については、教室に専用の箱を設置することで、児童も職員も利用を積極的に取り組んだ。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	掲示板には、ポスターや目標などがわかりやすく掲示されていた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	今年度も、児童だけではなく、職員も ISO への取り組みを意識し、ごみの分別や裏紙利用など、学校全体でも取り組むことができました。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- ・各クラスに ISOBOX を設置したことで、資源を無駄にしなかった。今後も続けていきたい。
- ・節電、節水ウィークを計画し、ポスターを掲示したり、放送で呼びかけをしたりして、全校で取り組んだ。積極的に協力してくれたので、計画してよかったと思う。

## 4 来年度に向けて(見直し結果)

目標達成に向けて ISO の取り組みに努めました。児童だけではなく、職員も ISO への取り組みを意識しており、ごみの分別や裏紙利用など、学校全体でも取り組みました。(株)日本クロージャ との学習交流も検討していきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月30日

平塚市立南原小学校

学校長 設楽 純江

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・牛乳パックをきれいに開いて洗う。</li><li>・雑巾はバケツで洗う。</li><li>・裏紙はリサイクルする。</li><li>・資源ごみの分別を徹底する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教室やトイレを出るときは電気を消す。</li><li>・使用していない機器のコンセントをこまめに抜く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・給食を残さないよう指導する。</li><li>・ごみの分別をする。(燃えるごみ・プラクル)</li><li>・ごみはなるべく小さくしてから捨てる。</li></ul>
独自メニュー		
<p>◆ 校内での取り組み</p> <p>令和5年度より環境美化委員会と保健委員会を統合したため、保健委員会の中で取り組みました。環境についての啓発活動や、校内緑化活動に取り組みました。</p> <p>美化週間として、運動会前に全校で運動場の石拾いをしたり、長い休みの前に「なでピカピカタイム」と称して大掃除を行いました。</p> <p>花壇にいただいたビオラを植え、毎日水やりを行いました。</p> <p>○緑の羽根募金</p> <p>募金を通して、全校で緑化活動推進に協力しました。児童運営委員会の児童が、朝の時間に職員室前や各クラスを回って募金を呼びかけました。</p> <p>○紙の有効利用</p> <p>各クラス、紙の裏面を有効活用しました。リサイクルできる紙は、各クラスでためておいて委員会活動時に集めました。</p> <p>○プラクル</p> <p>プラクル用のごみ箱の中にビニール袋を入れ、各クラスで対応しました。</p> <p>◆ 家庭での取り組み</p> <p>○夏季休業中の「ひらつかC 2C 2プラン」参加を呼びかけ、家庭でもIS の活動の普及に努めました。</p> <p>◆ 職員室での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・紙の裏面を有効活用しました。裏面を使ってメモ帳を作り職員室に置きました。</li><li>・ごみの分別を心がけました。</li><li>・職員会議を校支援などの活用でデジタル化しました。</li></ul>		

- ・メール配信の活用により、紙の削減につなげました。



## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	委員会の児童が中心となり計画をし、全校児童への具体的な方法を伝えていた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	委員会が中心となって取り組むことと各学級で取り組むこと、家庭での取り組み ができていた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	委員会児童の活動は活発であり、学校をきれいにすることへ意識が向いている が、常時活動内容について全校児童への発信があると意識がさらに高まる。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	紙の裏面の有効活用ができていた。今後も継続して取り組んでほしい。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

鏡みがきや流し掃除を楽しみながら行うことができました。古紙は、普段から整理しながら集めておかないと仕分けがたいへんなことがわかりました。学校がきれいだと気持ちよく過ごせるので、そのために活動できて良かったです。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

鏡みがきや流しの掃除、古紙回収も続けていきたいが、古紙回収については、日頃の集め方をクラスで工夫していく必要があるのではないかと思う。声掛けを続けていきたい。

子ども達が、自分たちで活動内容を組み立てていかれるようにしていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月19日

平塚市立真土小学校

学校長 堤 智

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
○水を大切にしよう。 ・水を出しっぱなしにしない。	○電気をこまめに消そう。 ・教室移動があるときは、教室の電気を消す。	○ごみをできるだけ小さくして捨てる。 ○落とし物を減らそう。 ○ゴミを分別しよう。

### 独自メニュー

#### 1. ISO カードの取り組み

「清掃・ISO 委員会」では、昨年度の活動を踏襲しチェックカードを作成し、ISO に関する取り組みを続けている。内容は、ゴミをできるだけ小さくする、ほかの教室に行くときクラスの電気を消す、石けんで手を洗うとき水を流しっぱなしにしない、おとしものをへらす、の4つの項目について各クラスで評価してもらった。カードは、毎月委員会で回収、新しいカードを配付という流れで行った。大きな行事がある時期は毎日チェックするのが難しいこともあったが、ISO について振り返る機会を作ることによって、ISO を意識できていた。



#### 2. ゴミ分別ポスターの掲示

今年度は、清掃・ISO 委員会の活動として「燃えるゴミ」と「プラゴミ」の表示ポスターを作成し、ゴミ箱の近くに貼ってもらうようにした。昨年度のポスターは、クラスによってゴミ箱の側面に貼られていることもあったが、表示する場所も委員会の児童からクラス担任や児童に伝えて、より意識してもらえようとした。そのせいか、プラゴミのゴミ箱に燃えるゴミが捨てられる



## 独自メニュー

ことが減ってきている。

### 3. 放送による呼びかけ

清掃・ISO委員会が児童集会で、ISOへの取り組みの意義について発表を行った。チェックシートの取り組みをお願いするだけでは、「なぜ、取り組むのか」が分からないまま、なんとなく取り組んでいる（または、意識し忘れている）こともあるので、委員会所属の児童が自分たちなりに調べた内容をクイズ形式にして発表した。委員会の児童も、義務感から行っていた活動に対して認識を新たにできたのではないかと思う。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	委員会とその担当教員を中心に、「たのしんどISOカード」やゴミの捨て方の表示作りなどを行い、学校全体でISOに取り組む計画をした。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	猛暑や行事などの理由から時期によって意識することが難しかったが、できる範囲で取り組んでいた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	委員会でISOカードの回収を行い、教員と児童とでチェックした。各クラスでの取り組みへのフィードバックが十分にできていない。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	昨年度、委員会が新設された。活動は昨年度の内容を踏襲した形を取ったが、新たにメンバーとなった児童と教員で相談と相談しながら進めることができた。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- ・委員会でISOカードを作り取り組んでもらうことで、電気を消さずに教室を移動する、水を出しっぱなしすることが減ってきたように感じる。落とし物はまだあるので、各クラスでの言葉かけが必要。
- ・毎回同じことをチェックしていたから、ISOに対する活動がおざなりになっていたところもあるように感じる。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

今年度は、昨年度の活動を踏襲したものとなったが、「より分かりやすく、身近に感じられるように」と工夫してきた。気候や行事などの環境の影響もあり、「できる範囲での取り組み」にはなるが、意識できるように努めていきたい。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月29日

平塚市立松が丘小学校

学校長 中野 美紀

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

### 共通メニュー

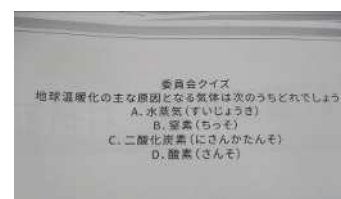
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>紙のリユースを行う。(紙の両面使用 資源再生物ボックスへ)</li><li>紙を大きさ別に分類し、白い方を上にして集める。</li><li>段ボールは、テープやホチキスを取り除き、まとめて資源回収コーナーへ出す。</li><li>蛇口をしっかりと締め、鉛筆の細さで水を使用するなど、節水を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>部屋を長時間空けるときには、必ず電気やエアコンを消す。(教室、特別教室、トイレ、廊下等)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>資源の分別をしっかりと行う。</li><li>封筒を再利用する。</li><li>給食をなるべく残さない。</li></ul>

### 独自メニュー

#### 学校全体での取組

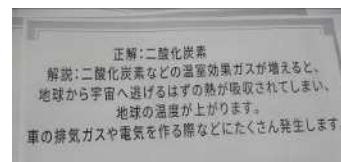
- 各クラスに「かんきょうに優しくできたかなカード」を配布し、クラスのISOめあてと、学校共通のめあての達成状況をふり返ることができるようにする。

チェック項目 紙の両面使用をし、資源再生ボックスに入れる。  
教室を出るとき、電気やエアコンを消す。  
プラクルは分別する。  
クラスのISOめあて



#### 環境委員会の取組

- 毎週火曜日に、各教室を回ってプラクルを回収する。その際、きちんと分別がされているかを確認する。
- 各クラスに配布した「かんきょうに優しくできたかなカード」を回収し、クラスのISOめあてと、学校共通のめあての達成状況を振り返る。
- 環境週間中の全校集会で、環境についてのクイズや呼びかけを実施する。
- 節電や節水、ごみの分別を呼びかけるポスターを作成し掲示する。



#### 給食委員会の取組

- 各クラスで洗った牛乳パックの回収を行う。
- 給食週間で「食べたかなカード」を配布し、「残さず食べると元気になる。」と呼び掛けた。

#### 職員の取組

- ペーパーレス化の推進。
- 学校からの配布文書はプリント配布ではなく、メール配信にて知らせる。

- ・印刷機の横に裏紙ボックスを設置し、裏紙の活用を推進する。
- ・分別回収の徹底。
- ・給食の残量調査の結果を校支援に載せ、各クラスの食べ残しが減るよう呼びかける。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	環境委員会や給食委員会など環境に直接関係する委員会をはじめ、各委員会や職員が全校で「省資源・省エネ・ごみの分別回収」活動を推進した。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	委員会児童による各クラスへのチェックカードの配布やポスター掲示、環境週間に行った全校集会では、クイズや呼びかけによって全校児童に分かりやすく伝え、全校のISO活動の意識化を図ることができた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	「かんきょうに優しくできたかなカード」でクラスのISOめあてと、学校共通のめあての達成状況を確認・振り返りをして次の活動へつなげた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	学校からの配布文書をメール配信で行うなど、ペーパーレス化をさらに推進した。
その他	全校朝会ではごみ問題についてプレゼンテーションで全児童に提起し、考える契機をつくった。来年度も継続し、環境を大切にすることが日常化されることを目指していきたい。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

プラクルの回収の際に、各クラスに「ゴミを減らしましょう。」と声かけをすることができた。また、ISO集会では、一人ひとりが地球の資源について考えられるよう、パソコンでのスライドショーや放送を使って伝えることができた。ゴミの分別や、節電・節水について説明をしたり、自分達が調べて考えた「環境クイズ」を出題したりすることができた。学校全体で環境について考えられる時間となった。今後も、各クラスに呼びかけられるような取り組みをしていきたい。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

職員室の印刷コーナーは、常にきれいに整頓され、裏紙の活用がしやすいようになっている。また、ごみ箱も種類ごとにラベルが貼られ、分別回収しやすい環境になっている。

児童が主体となって行ったISO集会では、クイズを用いながら環境にやさしい行動を呼びかけたことで、児童が、自分の生活を振り返ったり、節電・節水に努めたりする意識を高めることができたように感じた。給食集会では、いろいろ食べると病気にならずに、体が強くなることを劇仕立てで発表していた。食べ残しを減らし、食べ物を大切にしようとしたりする気持ちをそれぞれの児童がもつことができた。

今年度は保護者向け配布文書の電子化を進め、昨年度よりペーパーレス化を進めることができた。来年度も、本年度同様、全校の児童の意識を高められるような活動を委員会の児童と話し合っ、取り組んでいきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月30日

平塚市立相模小学校

学校長 比企 祐紀子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

### 共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
電気を大切にしよう。  水を大切にしよう。  給食を大切にしよう。  物を大切にしよう。	電気を大切にしよう。	ごみの分別をしよう。 (各クラスに燃えるごみとプラのごみ袋とリサイクルボックスを設置し、裏紙を使ったり、再利用したりする。)  給食の残量を少なくしよう。

### 独自メニュー

#### ISO 目標の設定

環境委員会から学校の ISO 目標を発表し、各クラスで学校の ISO 目標を踏まえた目標を立てた。



#### ISO 目標の振り返り

毎月、目標を振り返り、翌月の目標設定につなげられるようにした。ISO 強化週間には、毎日 ISO 目標の達成度を振り返った。



## 独自メニュー

### 環境委員の児童（ISO レンジャー）による啓発運動

年度始めに、環境委員会の児童の運営のもと、各クラスの ISO 目標をオンラインで発表する時間を設けた。また、環境委員会の児童が、月に一度各クラスの ISO 目標の達成度を確認する取り組みを行った。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者：  学校（園）長      教職員      その他（                      ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	ISO 目標を教室に大きく掲示し、日頃から環境への取り組みを意識できるようにしている。水&電気、物、給食と項目立てて、学級ごとに地球にやさしい環境づくり（省エネ・省資源・減量化）の取り組みができるように計画していた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	係活動として位置付けるクラスもあり、子どもたちの考えが反映されていた。低学年は、ゴミの分別等も難しく、教員がリードする部分が多いのはやむを得ないと思う。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	振り返りカードに目標・評価・振り返り・環境委員会からのコメントを記録し、自分たちの活動について確認できている。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	環境委員会による全校への呼びかけは、子どもたちの意識啓発に大いに役立った。タイミングを逃さず、継続して取り組んでいくことが大切と考える。
その他	今年も、自治会・ツインシティ大神地区タウンマネジメント連絡会議主催のジ・アウトレットのペットボトルイルミネーションにも参加でき、よかった。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

環境委員会の活動として、各クラスの ISO 目標の達成状況を分担して確認することができた。年間を通し、全校児童への環境に関する啓発活動（呼びかけ・校内放送）を行ったことで、児童一人一人の環境保全の意識を高められたと感じた。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

環境委員会の児童による全校児童への啓発活動の機会をできるだけ設けたことにより、学校全体の環境保全に対する意識を高めることができたように思う。来年度は、各クラスの環境保全の為にやっている独自の取り組みを全体で共有し、さらに環境保全への意識を高めていけるようにしていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月13日

平塚市立なでしこ小学校

学校長 棟居 手古奈

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
・水道水の節約をする。 (水はこまめに止める。雑巾の溜めすぎをする。流しっぱなしにしない。)	・使っていない教室は、消灯する。 ・エアコンの設定温度を適切にする。	・給食はできるだけ残さず食べる。 ・プラクルと燃せるごみ回収箱を各クラスや特別教室に設置し分別する。 ・セロテープの巻芯を集め、ニチバン巻芯 E C O プロジェクトに参加する。

独自メニュー
<p><b>「ニチバン巻芯 E C O プロジェクト」に参加 巻芯の回収</b></p> <p>巻芯を回収するとどのような良いことがあるのか委員会で確認した後、次のような手順で回収作業を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>たくさん集める方法を考える。</li><li>どのように収集するか考える。 クラスに回収箱を設置する。</li><li>各昇降口にポスターを掲示する。</li><li>巻芯を集めるねらいの説明を行う。</li><li>I S O 担当児童が放送などでよびかけをする。</li></ol> <p><b>水をきれいにする活動に参加 使用済みカイロの回収</b></p> <p>カイロを回収するとどのような良いことがあるのか委員会で確認した後、次のような手順で回収作業を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>たくさん集める方法を考える。</li><li>どのように収集するかを考える。 昇降口、各階に回収箱を設置</li><li>ポスターを掲示する。</li><li>カイロを集めるねらいの説明を行う。</li><li>I S O 担当児童が放送などでよびかけをする。</li></ol>

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	児童が中心となって巻芯、カイロの回収を行った。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	各教室、職員室などで児童や教職員が継続的に省資源、省エネ、ごみの減量化に向けて協力して取り組むことができた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	環境美化委員会による巻芯、カイロ回収は担当教員により状況把握と適宜指導を行った。職員室内の用紙等の再利用は事務担当が中心となり分別の声かけ等を行った。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	昨年度に引き続き、環境美化委員会が中心となって活動することができた。
その他	特になし

## 3 1年間で振り返ったの感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

児童会の代表が中心となって巻芯やカイロの回収活動を行った。校内放送で呼びかけを行うなど、児童が率先して取り組んでおり、環境問題への意識の高まりが感じられた。委員会児童の発信の他にも、教室での声かけも必要だと考える。水道は、手洗いのために使用が多くなっているが、出しっぱなしにはせず、こまめに止めながら使用できていた。エアコンの消し忘れがないよう戸締りの際に確認をすることができた。エアコンの設定温度は、換気のために窓を締め切ることができず、冬季は高めにする必要があった。必要以上の設定温度とならないようにしていく必要がある。給食委員会の取り組みとして、配膳員さんへのインタビューを行い、その様子を全校児童へ動画配信することで食の意識向上へ繋げることができた。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

来年度についても、より活発にするためにどのような取り組みができるか検討していく必要がある。今年度実施した巻芯 ECO プロジェクト、カイロ回収については、継続することができる。

総合的な学習の時間等でSDGsを扱い、ポスター等で呼びかけを行うなどすることで、ごみや水などの環境に対する全校児童の意識向上に努めていきたい。このように委員会活動を充実させたり、学習で扱ったりすることによって、全校児童の意識を高めていきたい。それらの成果と課題から、新たな取り組みを模索していきたい。

# 評価及び取組報告書

令和8年1月30日  
平塚市立勝原小学校

学校長 神田 陽一

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

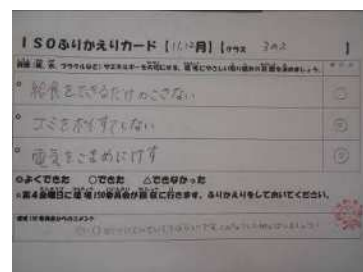
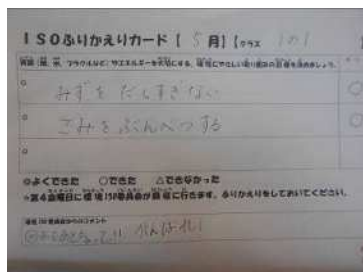
共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 節水</li><li>・ 紙の節約、裏面の使用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 節電</li><li>・ 消灯確認</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リサイクルボックスの設置</li><li>・ ゴミの分別</li><li>・ 資源ゴミの分別回収</li><li>・ 給食残量の減量</li></ul>

### 独自メニュー

#### 【ISO 週間の取り組み】

毎月第4週に「ISO 振り返り週間」を実施している。月の始めに各クラスで ISO に関する目標を決めて、取り組んだ。月末には、クラスごとに振り返りを記入し、意識の向上を図ったり改善点を考えたりするようにした。

学級ごとの目標をカードに記入して掲示する。



#### 【環境 ISO 委員会による活動】

児童による環境 ISO 委員会の活動においては、学年の発達段階を踏まえた、省資源・省エネ・ごみの減量化についてのポスターを校内の水道場や電気のスイッチ付近に掲示している。月末の ISO 振り返り週間には、委員が振り返りカードを回収しに行き、それぞれのクラスの自己評価に対して、励ましのコメントを記入して返却するようにした。



今年度の学校保健安全委員会が清掃の担当だった。委員会の児童で台本を考え、清掃に関する劇とクイズの動画を作成し、全校児童に見てもらった。その中で掃除の仕方(ほうき・ちりとりの使い方、雑巾の絞り方と使い方、机の運び方、水の取り扱い方)や手洗いについて全校に呼びかけ振り返る機会とした。

## 独自メニュー

### 【分別収集用のゴミ箱、ボックスの設置】

教室では燃えるゴミとプラクルを分別、収集している。職員室では、裏面が使える紙を大きさごとに分けた棚があり、資料印刷に再利用している。

プラゴミ箱設置



職員室内の分別コーナー



### 【給食残量の減量】

児童による給食委員会の活動では、毎日、給食時間に献立の説明やクイズを放送し、食に対する意識を高め、美味しく食べることができるように取り組んでいる。また、「給食室からのお知らせ」を各クラスにプリントで配布し、季節のメニューやご当地メニューなどの紹介をすることで、子どもたちが食に親しめるようにしていた。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	委員会の児童がふり返りカードの回収や、励ましのコメント記入などをして、各クラスに投げかけているところがよいと思う。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	各クラス、ふり返りができていないところが時々あるため、徹底していけるようになればよいと思う。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	毎月、クラスでふり返りを行うことにより、委員会だけでなくクラスで協力しながらできていると思うが、さらに徹底していけるようになればいいと思う。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	ISO 委員会の児童と担当の先生がリーダーシップをとりながら、これからも目標を達成できるようにがんばってほしい。
その他	

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

ISOふり返りカードの配布をして回収し、その度にコメントを書いて返すことが大変でした。「給食を残さない」などで が多いクラスは、がんばってほしいと思いました。でも、励ましのコメントを書いて、次に回収した時、 だったところが○や になっている時は嬉しかったです。これからもISOの意識を高めるために、自分たちにできることはないか考えたいです。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

手洗い場や、電気のスイッチ付近など、日頃から目にするところに節約のポスターがあったり、クラスごとにISOの目標を決めて取り組んだりすることで、ISOの目標が子どもたちにとって身近なものになっている。毎月のISO週間でふり返りの時間を設けることで、学校全体で意識を高めることができたのではないかと思います。今後も、児童が環境について主体的に考えて行動できるよう、活動内容を考えていきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月5日

平塚市立松延小学校

学校長 蝦名 今日子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>紙を大切にしよう(両面印刷、裏面印刷、リサイクルボックスの活用)</li><li>水を大切にしよう(水の使用量を減らす)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>教室に誰もいなくなるときは電気を消そう(電気の使用量を減らす)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>給食はできるだけ食べよう</li><li>ごみの分別をしよう</li></ul>
独自メニュー		
<p>省資源</p> <ul style="list-style-type: none"><li>各教室、職員室に燃せるごみとプラクルのごみ箱を設置し、資源とごみの分別を図る。</li><li>各教室、職員室にリサイクルボックスを設置して使用した紙を回収し、リサイクルする。</li><li>清掃時、雑巾を洗う時はバケツにためた水を使い、水を大切にす。</li></ul>		
<p>省エネ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ISO チェックを毎週金曜日に行い、教室に誰もいなくなるときは電気を忘れずに消す確認をする。</li></ul>		
<p>ごみの減量化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ISO チェックを毎週金曜日に行い、給食は自分で決めた量を食べることを確認する。</li><li>栄養士による栄養指導、お昼の放送を行う。</li></ul>		
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ISO チェックカードにクラスごとに設定した具体的な取り組みを記入し、活動を明確にして取り組む。</li><li>各クラスの ISO 目標を教室に掲示する。</li><li>毎週金曜日の帰りの会で「電気・水・紙の使い方・給食の食べ方」についてクラスで振り返る時間を取る。</li><li>ISO 委員会が ISO チェックやゴミ出しについての呼びかけを放送で行い、学校全体の ISO の意識を高める。</li><li>大そうじ週間を設け、ISO 委員会が放送で呼びかけをしたり、ISO レンジャーとなって各教室に掃除のやり方を教えて回ったりする。</li></ul>		

## 独自メニュー



## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長  教職員 その他（  ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	細かく分担され、計画されている。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	職員と児童の両方で協力して行われている。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	目標の確認、ふり返りを定期的に行っている。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	昨年度までに行ってきたことが習慣化されていて、今年度につながっている。
その他	特になし

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- ・「清掃強化週間」から「大そうじ週間」に名前が変わったことで、分かりやすかった。
- ・ISO チェックを毎週行ったことで、ISO 目標を意識して取り組むことができた。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

引き続き、今年度までに習慣化されていることを生かして取り組んでいきたい。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月31日

平塚市立みずほ小学校

学校長 大坪 邦子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

### 共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
資源を大切に ・各教室にうらがみ(裏面白紙)・しげんさいせいぶつ(両面使用済の紙)ボックスを設置する。 ・水を出しっぱなしにしない。 ・掃除のときにはバケツに水を汲んで、ぞうきんを洗い、節水を心がける。	電気の節約 ・天気のよい日は廊下の照明をつけないよう心がけた。 ・教室やトイレなどの明るさに気を付けながら節電する。 ・移動教室など人がいなくなるときは電気を消す。	ごみの分別回収 ・分別回収する場所に箱を設置する(職員室・校内等) ・プラクルボックスを設置する(各教室・職員室) ・給食のときに出るゴミ(ストロー、ストローの袋、パンの袋など)をしっかりと分別する。

### 独自メニュー

【全校児童と職員による取り組み】



ISO チェックカード	全校で「節電・節水・ごみの分別回収」の3項目に取り組み、半月ごとにふり返りを行った。
資源再生ボックスの設置	各教室に「うらがみボックス」を設置して、再利用を心がけた。両面使用済の紙は「しげんさいせいボックス」に入れごみの減量化を意識した。
ごみ箱を分けてゴミの分別を実施	各教室に燃えるゴミとプラクルの箱を用意し、ごみの分別が分かりやすいようにした。
給食で出るゴミの分別	パンの袋にストローの袋を入れること、パンの袋は結ぶといったやり方を周知し、分別やごみを小さくまとめることを徹底した。
牛乳パック	給食で飲み終わった牛乳は、きれいに開いて洗う。乾いたらまとめて給食室の前に集め、資源とし取りまとめた。
職員室での裏紙使用	使用用途に応じて印刷物に裏紙を活用するよう努めた。
職員室でのごみの分別	プラクル、燃えるごみ、生ごみ、カン、ビン、ペットボトル、ペットボトルのキャップなどのごみ箱を設置し、分別に努めた。

#### 【ISO 委員会児童による取り組み】

ISO チェックカード	節電、節水、ごみの分別の仕方の3項目について、各クラスにチェックカードを配布し、ISO 活動の推進協力を呼びかけた。 半月ごとのチェックを忘れずに行えるよう、ポイント制にしてポイントが多いクラスには表彰状を渡すといった活動の工夫を考え実施した。
プラクル、裏紙、資源ごみ（両面使用済の紙）の回収	毎月（15日、30日）の中休みの時間や委員会活動の時間に、全教室からプラクル、裏紙、資源ごみを回収した。（回収に行く際に、担当クラスのISO チェックカードを確認した）回収したプラゴミについて分別がしっかりできているか確認しながらゴミの取りまとめを行い、集積場へ運んだ。資源紙は段ボールにまとめた。
給食時のごみの分別について連絡（放送）	給食の時間に放送でプラクルの正しい分別の仕方について共通理解を図った。委員会児童は、献立表を確認し、注意が必要なものについて放送で連絡した。（例：パンの袋にストローの袋を入れてしばってプラクルに出す/ジャムや麺の袋はよごれているので燃えるごみに出すなど）
ISO ピンゴ	ISO に関する取り組みをピンゴ形式にして楽しく取り組んでもらえるように取り組んだ。その後、各クラスの取り組みに対して委員会の児童が賞状を作成し、配布した。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	児童 ISO 委員会活動での話し合いを中心に、校内全校児童と教職員が無理なく 取り組めそうなメニューを考えることができていた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	毎月の児童 ISO 委員会活動の取組が定着してきており、委員会や各クラスの ISO への取組みへの意識向上につながり、全校での継続した取組みにつながった。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	ISO チェックカードを作成し、各クラスでチェックすることにより、取組みの振 り返りをすることができていた。適宜見直しは必要と感じるので検討してもらい たい。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	各クラスでのごみの分別方法の工夫をしたり、児童 ISO 委員会の働きがけで、 ごみの分別をしたりする取組みを意識する児童が少しずつ増えてきた。さらに、 ごみを減らす意識も高めたい。
その他	なんのための ISO 活動か、全校で時々意識付けを行いたい。

## 3 1年間で振り返ったの感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

ISO チェックを継続して行ったことで、分別の意識が高まっていた。給食の時間に、ISO 委員会がゴミの分別  
について放送で伝えたことで、間違えずに分別しようとする児童が増えた。今年行った ISO ビンゴでは、9つ  
の項目に分けて分かりやすくしたことで、取り組む観点が明確になった。ビンゴにすることで、楽しく活動でき  
た。1回だけではなく、継続して行っていくことで、ISO に対しての意識を継続して高めていけるように思う。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

ISO チェック時に ISO 委員会が各クラスのプラクルを回収していた。各クラスの児童の意識を高めて活動し  
ていくためにも、ISO 委員会自身、自分たちの取組みが、身近な環境にどのように関わっているのか、それが  
地球規模でどう広がっていくのか、委員会としての取組みがあってもよいと感じた。4年生のごみ学習をヒン  
トに広がっていければよいと感じる。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月20日

平塚市立 山下小学校

学校長 武井 博久

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
○紙は再生紙を利用し、裏面も使う。 ○裏紙や余ったプリント用紙をメモ用紙として使用するなど有効活用する。 ○文房具は最後まで使用する。 ○水道の水をこまめに止めるなど、節水を心がける。	○教室不在時は、電気やエアコンのスイッチを消す。 ○パソコンを節電モードにする。 ○夏季はカーテンで日射を遮り、冬季はカーテンを開けて自然採光を取り入れる。 ○冷暖房時は、窓や出入り口の開放を制限する。	○資源ごみの分別をし、再利用を図る。 ○リサイクルBOXを設置する。 ○ノートや折り紙を無駄づかいしない。 ○給食は残さずに食べる努力をする。
独自メニュー		
○各クラスの取り組み ・ ISO 目標を設定（水を出しっぱなしにしない、給食を残さずに食べよう、ごみの分別を心掛けるなど。） ・ 目標達成に向けて実施し、7月・12月・3月に取り組みについて振り返りを行う。 ・ クラスには、プラごみ用のごみ箱と燃えるごみ用のごみ箱を用意し、分別して捨てるようにする。 ・ 各クラスに資源ごみ BOX を設置する。		
○環境園芸飼育委員会の活動 ・ 資源ごみの回収。 ・ 飼育している亀の餌やり、水槽の掃除。 ・ ISO 集会を通して、自分たちが行っていることがどのように環境問題に関わってくるのか発表する。		
○職員の取り組み ・ 校支援の回覧板や掲示板を使用し、ペーパーレス化に努める。		

## 独自メニュー

ISO チェックカード	全校で「節電・節水・ごみの分別回収」の3項目に取り組み、半月ごとに振り返りを行った。
資源再生ボックス	各教室に資源再生 BOX を設置し、ごみの減量化を意識した。
ごみ箱を分けてごみの分別を実施	各教室に燃えるごみとプラクルのごみ箱を用意し、ごみの分別が分かりやすいようにした。
給食で出るごみの分別	パンの袋にストローのごみを入れること、パンの袋は結ぶといったやり方を周知し、分別やごみを小さくまとめることを徹底した。
牛乳パック	給食で飲み終わった牛乳は、きれいに開いて洗う。乾いたらまとめて給食室の前に集め、資源として取りまとめた。
職員室での裏紙使用	使用用途に応じて印刷物に裏紙を活用するように努めた。
職員室でのごみの分別	プラクル、燃えるごみ、生ごみ、カン、ビン、ペットボトル、ペットボトルのキャップなどのごみ箱を設置し、分別に努めた。
ひらつか CO CO プランへの参加	夏休みの課題として希望制で活動を提示した。

### 【環境園芸飼育委員会児童による取り組み】

節電、節水、ごみの分別の仕方の3項目について、各クラスにチェックカードを配布し、ISO 活動の推進協力を呼びかけた。

ISO 集会（中間発表）を開き、各クラスの ISO 目標を集計し、発表した。そして、その活動がどのように環境問題に関係してくるのかを調べ、クイズなどを通して発表した。（司会・進行）

環境問題についてのポスターを作成し、掲示した。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校(園)長 教職員  その他 (SSS 菊池さん)

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	ISO ふり返りカードが掲示されていた。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	・水を出しっぱなしにしない。・ポイ捨てをしない。 ・ゴミの分別(プラごみと燃えるゴミ)・物を大切にする。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	ふり返りカードに次はどうするかをコメントに残していた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	ゴミの分別はしっかりできていたが、節電についてはもう少し取り組みそうなク ラスがあった。
その他	そうじ用具を大切にしよう！や環境クイズのポスターがありました。とてもわか りやすく説明してあり、感心しました！

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

ISO 集会やクイズから、環境のために自分ができることがわかった。物を大切にしたり、水の出しすぎに気をつ  
けたりしたいなって思った。

## 4 来年度に向けて(見直し結果)

一部、誰もいない教室の電気をつけっぱなしでしたが、来年度もふりかえりやポスターの掲示などでみんなに意  
識してもらえるといいですね。

(様式1)

# 評価及び取組報告書

令和8年1月7日

平塚市立大原小学校

学校長 角田 憲亮

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。  
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"><li>・資料共有の電子化により紙の使用量を削減する。</li><li>・裏紙の活用。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・節電...電気を大切に使いましょう。(各クラスで実践を進めている。)</li><li>・冷房使用時は室温 28 を目安にする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・資源回収...プラクルや紙資源の回収をしましょう。(各クラスで実践を進めている。)</li><li>・物を大切に...学習用具を大切に使いましょう。(各クラスで実践を進めている。)</li></ul>
独自メニュー		
<p>本校では、環境委員会が計画を立て、環境 ISO の意識を高めようと活動を進めている。各取り組みの様子を以下に紹介する。</p> <p>1. <u>ごみの減量化</u></p> <p>校内のごみは、紙資源・プラクル・燃せるごみ・燃せないごみの4種類に分別される。各クラスにプラクル・燃せるゴミ・紙資源の回収ボックスを設け、きっちり分別できている。</p> <p>2. <u>ペットボトルキャップの回収</u></p> <p>回収ボックスを設置し、全校児童に回収を呼びかけている。環境委員会は、当番制で集まったキャップをまとめている。集まったキャップは業者へ引き渡され、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動に充てられている。今年度も最終的な回収量を校内放送や朝会を通して全校に報告する予定である。</p> <p>3. <u>校内の美化活動</u></p> <p>年2回設けられた「学校びかぴか週間」に、環境委員会が清掃のポイントを提案し、校内美化に努めている。チェックカードを作成し、児童は各清掃場所で意識して清掃に取り組むことができている。1～6年生で編成された縦割り班での清掃活動により掃除の仕方をはじめとして、物を大切に使う姿勢を上級生から下級生に伝えている。</p> <p>委員会児童による、ポスター掲示によって「物を大切にすること」「省エネ」「ごみの分別」などを促す啓発活動を行った。</p>		

## 独自メニュー

### 1. 学習活動に関連して

卒業式や入学式の式場を飾る花とする計画で、1・2年生「パンジー」、3・4年生「ノースポール」、5・6年生「サクラソウ」を育てている。サクラソウにおいては昨年度のこぼれ種からの育成に取り組み、プランターの土も学校の畑に還元し再利用をしている。5年生が総合的な学習の時間に取り組んだバケツ稲では、再利用した土を活用した。稲刈り後にでた、もみ殻についても「持続可能」をテーマに再利用の方法について探究活動を進めている。校内のプランターも消耗具合を見て再利用している。

### 2. 特別活動（委員会）での取り組み

年2回「学校ぴかぴか週間」を計画し、環境委員会が清掃の状況を確認し、各クラスに清掃の仕方を教えたりアドバイスをしたり、校内美化の活性化に努めている。今年度は、9月に第1回学校ぴかぴか週間を実施した。第2回は3月に計画している。校内放送により分別回収の周知や回収時の立会いによりごみの分別の確認、下級生への分別意識の向上に取り組んだ。

### 3. 教職員の取り組み

職員室においては、電子システムによる情報の共有を優先すること、印刷の際は両面印刷、まとめて印刷、トナー節約などの機能の活用により紙などの資源の節約に取り組んだ。裏紙、使用済み封筒などの再利用、資源回収、ごみの分別回収など、リサイクルや省資源化に継続して取り組んでいる。例年、夏には窓によしずを立てかけ、エアコン等電力の使用を控えようと取り組んだ。冬期には室内の湿度調整によるエアコン消費電力の削減に取り組んだ。

## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長      教職員      その他（                      ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	環境委員会の活動から取り組みをつなげ、ごみの減量化や校内の美化活動の推進を図っている。教職員のリサイクルや省資源化の意識化も図っている。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	環境委員会の呼びかけが、各クラスや縦割り班で掃除活動を行うときの意識の向上につながった。環境委員会児童で、花植えに取り組んだ。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	わかば環境ISO年間計画に基づいて活動し、年度末には記録を基に振り返りを行い、次年度の課題を考え、活動計画につなげている。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に生かされているか	環境委員会の児童が、プラクルや燃えるごみの回収日を放送で行い、回収に向かうなど、ごみの減量化を目指した活動をすることができた。
その他	環境委員が、委員会活動を通して、校内美化への意識を高めていた。また、全学年で育てたプランターの花の水やりを行い、校内美化意識と自然愛護を育てている。

## 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

委員会活動の取り組みもあり、学校全体としてゴミの分別回収への意識を高く持つことができている。ごみの減量、省資源については、落とし物や食品ロスを減らすなど、身近なことから取り組んでいきたい。

## 4 来年度に向けて（見直し結果）

省資源、省エネ、ごみの減量化は、職員の意識により大きく左右される内容であり、子どもたちとの取り組みの活性化はもちろん、職員全体での取り組みとしては、ペーパーレス化が取り組みやすい内容であり、来年度に生かしていきたい。